

今、この男たちから目が離せない!



熊川哲也K-BALLET COMPANYから生まれた

新たなパフォーマンス・グループがステージ界に旋風を巻き起こす!!

“舞台芸術のすばらしさをより多くの方へ伝えたい”

宮尾俊太郎による振り付け作品を始め、クラシックバレエにとどまらない

様々なジャンルとのコラボレーション、ダンサー自身による企画プロデュース、

そしてKバレエカンパニーの芸術監督・熊川哲也が総合演出を手掛けます。

バレエダンサーが贈る、

美しく華麗なパフォーマンスにご注目ください。

ゲストソリスト、沖仁との

コラボレーションも見逃せません。



■ゲストソリスト

沖 仁 (フラメンコギター)



©Ayumu Gombi

Ballet Gents 札幌公演

バレエジェンツ

総合演出／熊川哲也 出演／Ballet Gents(宮尾俊太郎、杉野慧、益子倭、篠宮佑一、栗山廉) ゲストソリスト／沖仁(フラメンコギター)

〈BalletGents公式サイト〉<http://www.k-ballet.co.jp/gents/>

2018年 **7月12日(木)** 開場18:00
開演18:30

わくわくホリデーホール〈札幌市民ホール〉

札幌市中央区北1条西1丁目

S席 8,000円 **A席 7,000円** 【全席指定・税込】
※未就学児入場不可

チケット取り扱い

■道新プレイガイド	011-241-3871
■大丸プレイガイド(南1西3)	011-221-3900
■ローソンチケット	0570-084-001【Lコード:11311】
■チケットぴあ	0570-02-9999【Pコード:485-820】
■セブン-イレブン	店内マルチコピー機

●主催／北海道新聞社、道新スポーツ、エフエム北海道、道新文化事業社
●特別協力／TVhテレビ北海道、オントナ ●後援／札幌市、札幌市教育委員会

メリットいっぱい!

道新プレイガイドオンラインストア

道新プレイガイド

検索

<https://doshin-playguide.jp>

ご購入お問い合わせ

TEL.011-241-3871

(営業時間9:30~18:00、不定休)





Ballet Gents

バレエジェンツ



世界的バレエダンサー熊川哲也が芸術監督を務めるKバレエカンパニーのダンサー5人で結成したパフォーマンス・グループ。プリンシパルとして活躍する宮尾俊太郎が座長を務め、演出・振付も手掛けている。オリジナルのレパートリー以外にも他ジャンルとのコラボレーションなど、クラシックバレエのみにとどまらない男性ダンサーならではのダイナミックなパフォーマンスをみせる。ホテル椿山荘、パレスホテル東京での単独ディナーショーや愛媛・内子座での特別公演を開催。「日本フィル&サントリーホールとっておきアフタヌーン」「青島広志の夏休みスペシャルコンサート」「2014-2015東急ジルベスタコンサート」等に出演。ほかにもトークイベントやTV・雑誌などに多く出演し、2016年秋からはCS日テレプラスでBallet Gentsの密着番組放送が始まるなど、幅広くエンターテインメントな活動も行っている。主なレパートリーは『Scenes from Gents』『Five Jewels』『Opening~inferno~』『Center is mine!』など。『ルスランとリュドミラ 序曲』『グリンカ』『交響曲第9番"新世界より"第4楽章』『ドヴォルザーク』『木星』（ホルスト）などの楽曲でも振付を行っている。総合プロデュースに熊川哲也。



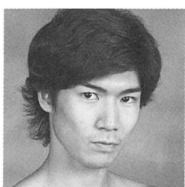
座長：宮尾 俊太郎 Shuntaro Miyao

北海道生まれ。14歳よりバレエを始め、カンヌ・ロゼラハタワーに留学。2004年10月Kバレエカンパニーに入団。『ドン・キホーテ』で主演デビュー後、頭角を現し、次々と主役の座を射止め、2015年12月プリンシパルに昇格。熊川版『白鳥の湖』『シンデレラ』『ロミオとジュリエット』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』『ジゼル』『海賊』『クレオパトラ』など、全幕・主要作品で主演を務めている。カンパニー公演での自らの振付作品としては、『Piano Concerto Edvard』がある。また、TV・ドラマ・CM・広告等メディアでも活躍中。『キリン氷結』CM、『アナザースカイ』MC、『いっぶく』『はなまるカフェ』『徹子の部屋』『おしゃれイズム』『行列のできる法律相談所』、ドラマ『ヤマトナデシコ七変化』『IQ246〜華麗なる事件簿』、ミュージカル『ロミオ&ジュリエット』他に出演。Ballet Gentsでは、座長として作品の振付・演出を手掛ける。主な振付作品は、『Scenes from Gents』『Five Jewels』『Opening~inferno~』『Center is mine!』など。『げっさんチェック』（テレビユー福島）にて、毎週火曜日のレポーターとしてレギュラー出演中。2018年5月〜6月ミュージカル『ウーマン・オブ・ザ・イヤー』（大阪・東京）にて、アレクセイ・ベトリコフ役で出演予定。



杉野 慧 Kei Sugino

神奈川県生まれ。2008年よりKバレエスクールで学び、2011年8月Kバレエカンパニーに入団。2017年5月『海賊』にて、コンラッド役で初主演を務めた。主な出演は、熊川版『白鳥の湖』のロットバルト役、『くるみ割り人形』のドロッセルマイヤー役、『ロミオとジュリエット』のティボルト役、『カルメン』のエスカミリーヨ役、『海賊』ビルバント役など。力強い踊りと高い演技力が必要とされる役を多く踊り、存在感を放つ。2018年6月『クレオパトラ』にて、オクタヴィアヌス役で出演予定。



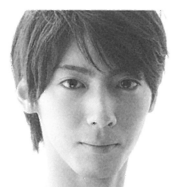
益子 倭 Yamato Mashiko

埼玉県生まれ。Kバレエスクールを経て英国エルムハーストスクールに留学。2012年4月Kバレエカンパニーに入団。熊川版『ロミオとジュリエット』のベンヴォーリオ役、『海賊』のランケデム役／アリ役、『白鳥の湖』のベンノ役に抜擢。2014年1月の新春スペシャルドラマ『眠りの森』（TBS）では柳生耕介役で出演。切れ味のよい鋭利とした踊りで魅了する。2018年10月『ロミオとジュリエット』にて、マキューシオ役で出演予定。



篠宮 佑一 Yuichi Shinomiya

神奈川県生まれ。2007年より在京のバレエ団で活躍、スペインツアーなどに参加。2014年5月Kバレエカンパニーに入団。2016年3月『ドン・キホーテ』のバジル役で初主演を務めた。主な出演作は、熊川版『ラ・バヤデル』のブロンズ・アイドル役、『シンデレラ』のバレエ教師役、『白鳥の湖』のベンノ役、『クレオパトラ』のプトレマイオス役など。テクニカルな踊りからコミカルな演技まで豊かな表現力で幅広くこなす、多才なダンサー。2018年5月『コッペリア』にて、フアンツ役で主演予定。2018年6月『クレオパトラ』にて、プトレマイオス役で出演予定。



栗山 廉 Ren Kuriyama

北海道生まれ。ベルギー王立アントワープバレエ学校、ルードラ・ベジャール・ローザンヌで学び、在学中にベジャール・バレエ・ローザンヌのヨーロッパツアーに参加。2014年1月Kバレエカンパニーに入団。入団間もなく熊川版『ロミオとジュリエット』のベンヴォーリオ役を射止め、2015年11月『白鳥の湖』ではジークフリート王子役で主役デビューを果たした。2017年秋ミュージカル『ピリーエリオット〜リトル・ダンサー〜』（東京・大阪）に、オールダー・ビリー役で出演。美しい肢体で描くしなやかな踊りが魅力の、期待の若手ダンサー。2018年6月『クレオパトラ』にて、アントニウス役で出演予定。



沖 仁 Jin Oki

1974年生まれ。14歳より独学でエレキギターを始める。高校卒業後、カナダで一年間クラシックギターを学んだ後、スペインと日本を往復し20代を過ごす。2000年5月帰国。02年「UNA MANANA EN BOLIVIA(ボリビアの朝)」をリリース。06年メジャーデビュー。07年NHK大河ドラマ「風林火山」紀行テーマ曲を担当。10年7月、スペイン三大フラメンコギターコンクールのひとつ「第5回 ムルシア "ニーニョ・リカルド" フラメンコギター国際コンクール」国際部門で優勝。日本人として初の快挙を成し遂げた。コンクールに挑む様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」がオンエアされ、大きな反響を呼ぶ。現在は東京を拠点にし、全国でソロ公演を開催。また、フジテレビ系プログラム「ヨルタモリ」に常連客として度々出演した他、人気フィギュアスケートアニメ「ユーリ!!! on ICE」で主人公のショートプログラム曲を演奏するなど、メディアでの活動の幅も広がっている。オーケストラ、能、長唄、朗読との共演など、国内外でのジャンルを超えたトップアーティストとのコラボレーションも多数。デビュー15周年を迎えた2017年には、オリジナルアルバム「Clásico[クラシコ]」をリリース、7月には東京オペラシティコンサートホールで「沖仁 デビュー15周年記念公演15 -QUINCE-」を開催した。